

令和 2 年度

子ども議会 質問書  
(発言順)

# 質問事項 「沼田のよさの発信と将来について」

No. 1

まつもと あまね

沼田東小学校 6年 松本 周子 (1番)

私は、沼田が好きです。友達や家族と一緒に  
ずっと暮らしていきたいです。反面、様々  
な人に出会って自分の世界を広げたり、やり  
たい仕事を見つけたりするために、一度は外  
に出てみたい、とも思います。そして、再び  
沼田に戻って来るというのが、私の夢です。  
だから、みんなにも沼田を忘れずにいてほし  
いですし、将来は戻って来てほしいと思うの  
ですが、実際には外に出たままの人も多い、  
というのが少し寂しいです。

私は、今のままの沼田も大好きで、自慢も  
できる街だと思っています。でも、そのよさ  
を知らない人が多いのではないか? どうか?  
市民に対しても、それ以外の人に対しても、  
もっとよさをアピールして、「こんな素敵な  
場所なんだ」「また戻ってきたい」「沼田に  
住んでみたい」と感じてもらう必要があると  
思います。

沼田市では、どのように沼田をアピールし  
ていますか? 今後の新しい計画はあります  
か? また、将来沼田をどのような街にしたい  
と思っていますか? 考えをお聞かせください。

## 質問事項

「季節の特色を生かした商売（道の駅の建設）について」

No. 2

おおたか ゆうき

池田小学校 6年 大高 悠貴（2番）

ぼくたちが住む沼田は、野菜、くだものづくりがさかんな地域です。その野菜やくだものを作ったり、買ったりする機会がより多くあれば、とてもいいなと思いました。

県内外関係なく、だれでも買えたり農家さんが作ったりする道の駅があれば、とてもよいと思います。

例えば、未来の沼田にほしい道の駅として、運動ができる場所や、ご飯が食べられるお店が一緒にあると観光地にもなり、特産物を色々な人に知つてもらえる、ちょうどよい機会になると思います。

また、そこで特産物を使った料理のレシピなどを公開して、たくさんの人々に食べてもらうと、もっと沼田を知つてもらえることにつながるのではないかと思っています。

沼田にこのような道の駅があるともっと色々な人に知つてもらえ、その発展につながるのではないかと思います。

この案について、どのようにお考えになるか、お聞かせ下さい。

## 質問事項 「交通安全に関するここと」

No.3

おの あやな  
白沢小学校 6年 小野 愛奈（3番）

私が住んでいる白沢町に作ってほしい物が																							
あります。それは、信号機です。																							
その理由は、私の家の近くには、大きな道																							
路（120号）が通っています。その十字																							
路には、横断歩道はあるのに、信号機があり																							
ません。小学生・中学生もこの道路を通るの																							
に、車が多く道路をわたれずに待っているこ																							
とがあります。また、大きな道路なので、車																							
のスピードも速く、恐いなと思うこともあります。																							
冬には、																							
スキーゲートが多くこの道路を通ります。雪道に																							
なれない人達が、スピードを出してしま																							
うため、事故も起きやすくなってしまうので																							
はないかと考えます。那人達のスピードを																							
ゆるめるためにも、信号機を設置してほしい																							
なと思いました。信号機を設置することで、																							
事故が減ったり、小学生・中学生が横断歩道																							
をわたる時も安心してわたることができると																							
思います。また、雪道になれない人達も																							
スピードをださなくなるのではないかと思																							
います。																							

## 質問事項 「シャッターで繋がる学生のキャンパス」

No.4

たけい みりか

沼田女子高校 2年 武井 美里花 (4番)

沼田市をより良い場所にしていくためには、大人の方々の力だけでなく、将来を担つていく私たち学生の力も必要だと思います。任せばばかりではなく、私自身も力になりたい、そう考えました。															
そこで私は、「シャッターで繋がる学生のキャンパス」というプロジェクトを提案します。これは、沼田市にあるシャッターを、キャンパスとして使わせていただき、沼田市の学生で協力して、絵を描いていくものです。そして、希望の象徴となる絵のテーマを決め、いくつものシャッターを合わせると1枚の絵になるように描くのです。そうすることで、沼田市の絆や繋がりを表せると思想いました。これは、小学生から高校生まで、希望に満ち溢れている学生が作り出すものです。距離をとる必要がある今だからこそ、目に見える繋がりを作り出し、沼田市をより明るい場所にしたいと考えました。私たち学生にも、沼田市の活性化に協力させていただきたいたいです。ご検討の程よろしくお願ひ致します。															

## 質問事項 「沼田市の活性化について」

No.5

くらた れい

利根商業高校 2年 倉田 莉 (5番)

私は、沼田市が観光地の1つとして有名になります。
私は、たくさん的人に沼田市の良さを知つてもらいたいと考えます。春なら沼田公園の美しい桜、夏なら吹割の滝、秋には沼田名産のフルーツ狩り、冬は玉原スキー場などでウインタースポーツを楽しむことができます。また、沼田祭りや花火大会など、どの年代の人たちも楽しめる素晴らしいイベントがあります。
私たち市民は毎年それを楽しみにしています。
私は、そんな沼田を海外の方にも知つてほしいと考えました。ですが、感染症の影響で十分に楽しめないのが現状です。そこで、YouTubeで沼田の様子を動画にあげて、見てもらうことを考えました。特にドイツは沼田市と姉妹都市であるため、英語や中国語だけでなく、ドイツ語などの様々な言語を字幕につけることで、よりたくさんの方が沼田に興味をもってくれるはずです。そうすることでき国際交流が増え、活性化に繋がると思います。これについて、市長はどういうにお考えでしょうか。

## 質問事項 「心身に障害を持っている人に関すること」

No. 6

おさ  
あおと  
升形小学校 6年 長 蒼翔（6番）

心身に障害を持っている人のために老人ホームや特別支援学校をつくるなど、沼田市でも障害を持つていてる人が暮らしやすい町になるよう工夫をしているのだということが町中を歩いていると分かります。														
沼田市の小中学校でも福祉体験をしています。また学校の敷地も玄関にスロープをつけており、階段に手すりがついていたりと障害を持つ人が過ごしやすいような環境づくりを行われています。私たちの学校には、車イスの人が利用できるスライドドアの大きな個室トイレが設置されています。														
しかし、私は施設や環境が整備されるだけでは不十分ではないかと思います。なぜなら困っている人がいたら助けるという思いやりの人の力があれば、より暮らしやすい町になると考えるからです。														
障害を持つていてる方でも暮らしやすい町にするために沼田市では障害を持つ方一人ひとりに対しては、どのような対応をしていますか。														

## 質問事項 「防災や災害に関するここと」

No. 7

こばやし みのん

池田中学校 3年 小林 心暖 (7番)

日本では、地震や台風などにより、被害を受けることがよくあります。特に、最近では中国地方で大雨により、土砂崩れや川のはんらんなどがあり、たくさん的人が亡くなりました。しかし、ニュースの映像を見ていると、よくあれだけの被害で、おさえることができたなとも思いました。そこで、中国地方を中心に、防災や減災のためにどのような取組をしているのか、調べてみました。

広島県では広島県が育成した防災アドバイザーに、県民の人達が気軽に相談できるような取組や、島根県では、専門家を招き、防災安全講演会を開いたり、山口県では地域ごとに防災組織を作ったりしていました。特に、島根県では、ウェブページで市町村ごとの注意報や災害状況、避難情報などを見る事ができるようになっていました。

では、僕達が住んでいる沼田市では、どのような防災や減災のための取組を行っていますか？教えてください。

## 質問事項 「マイナンバーカードの普及について」

No.8

まつ い ほ だか  
沼田北小学校 6年 松井 穂高 (8番)

ぼくは、半年ほど前、父と市役所を訪れマ
イナンバーカードを申請し取得しました。手
元に届いたマイナンバーカードには、自分の
顔写真が載っていて、なんだかうれしかった
です。そして、このカードはどうなことに
使えるのか、自分なりに調べてみました。
マイナンバーカードは身分証明書として使
えるほか、給付金の申請や最近ではマイナボ
イントが付くなど便利でお得なカードです。
しかし、このカードを危険だと勘違いしている人が多く、なかなか普及していないことを
知りました。
そこで、沼田市全体のカードの普及率と小学生のみの普及率を教えてください。
また、マイナンバーカードを普及するための市独自の対策や取組はありますか。
ぜひ、市のご意見をお聞かせください。

## 質問事項 「災害について」

No. 9

ほんだ えいと  
川田小学校 6年 本多 詠斗 (9番)

地しんやごう雨、水害などの災害は、予測がつかなくて、とてもこわいと思いました。																							
だから、色々とそなえる事は、すごく大切だと思います。																							
ひなん所で生活している人、車の中で生活している人。災害が起こるとこのようない人が、たくさんいるという事を知りました。																							
川田地区では、知るかぎりでは、災害はあまりないように思いますが、ぼくの家は、利根川のすぐそばなので、川の水がふえたりすると、土しゃくずれが、あるかもと心配しています。ぼく達は当たり前に毎日を送っていますが、学校でするひなん訓練を、しっかり覚え、保存食や水など、必要としている物をきちんと準備しておこうと思います。																							
沼田市では、大雨や台風など、災害を大きくしないために、どのような対策をしていますか。よろしくお願ひします。																							

## 質問事項 「パラリンピック競技の体験について」

No.10

いぐち めい

沼田東中学校 3年 井口 明衣 (10番)

東京オリンピック・パラリンピックが、来																	
年に迫り、テレビや新聞等で競技や選手が紹																	
介されるなど、注目が集まっています。オリ																	
ンピックについては、私たちになじみがある																	
競技も多く、認知度も高いと思います。しか																	
し、パラリンピックについては、近年テレビ																	
番組での報道も増え、関心が高まっています																	
が、競技やルールについて、知らないことも																	
まだ多いです。沼田市には、ドイツのフェン																	
シングチームが事前合宿に来る予定ですが、																	
パラリンピックでもフェンシングが行われる																	
ことを、私は最近まで知りませんでした。																	
そこで考えたことは、パラリンピック競技																	
を体験する機会があれば、良いのではないか																	
ということです。学校の授業やスポーツイベ																	
ント、実際にプレーしている方を招いての体																	
験会など、パラリンピック競技を体験できる																	
機会を設けるのはどうでしょうか。そうすれば、パラスポーツへの関心が高まり、障害や																	
多様性についても、理解を深めるきっかけに																	
なるのではないしょうか。																	

## 質問事項 「沼田市の活性化について」

No.11

よしの りよう

沼田南中学校 3年 吉野 亮 (11番)

沼田市の活性化について、質問させていた
だきます。
私は、この夏まで野球部に入っていましたが、南中だけでは人数が足らず、単独でチームを組めていました。こうしたこと私は私の入っていた野球部に限ったことではありません。他の部活動や、他の学校の部活動も同じ状況に陥っていると聞いています。この問題は、子どもの数が減っていることが、とても関係していると思います。
そして、将来的に、その子どもたちが成長し、沼田から離れていってしまうと、どんどん少子高齢化や人口の減少が進んしまうと考えられます。すると、町中では今よりもっと、シャッターが閉まったお店が増えて、市街地の空洞化が進んだり、学校がなくなってしまうことがあります。そうなつてしまふと、市民が安心して生活したり子育てしたりするこれが難しくなってしまうでしょう。
そこで、これらの問題を引き起こすであろう少子高齢化問題が沼田市内で深刻化しないようにするために、現在沼田市ではどのような政策を行っているのでしょうか。また、若

質問事項 「沼田市の活性化について」

No.11

よしの りよう

沼田南中学校 3年 吉野 亮 (11番)

年層の定住をうながし、今よりももっと活気																							
のある沼田市にしていくために、どのように																							
ことに取り組んでいるのでしょうか。																							
以上についてお伺いいたします。よろしく																							
お願いします。																							

## 質問事項

「移動投票所を沼田高校内に設置することは可能か」

No.12

はしづめ うるま

沼田高校 2年 橋爪 美真 (12番)

選挙権が20歳から18歳へ引き下げられ、高校生も三年生が投票に行くことが可能になりました。以前、私は論文を書くために、広報ぬまたを読んだり、選挙管理委員を務められている方に聞き取り調査をさせて頂く機会がありました。その過程で、移動投票所の仕組みを知りました。利根地区や川田地区などの投票所が少ない地域や山間部のために、投票することが難しい高齢者の方々に非常に貢献しているということが分かりました。そこで、私から提案があります。移動投票所が、沼田高校に来て頂くことは可能でしょうか。三年生は、大学の受験勉強や塾など、時間に追われていて、昼休みや放課後などに、学校内に投票所があれば友人などを誘って、すきま時間を活用して投票することが可能になります。また、投票率も上がると考えられます。ご検討のほどよろしくお願ひ致します。

## 質問事項 「沼田市におけるホームステイについて」

No.13

とば さなえ

多那小学校 6年 鳥羽 佐奈恵 (13番)

沼田市では、都市住民の方を対象とした田舎体験ツアーを開催していると聞きました。																	
そば打ちをしたり、こんにゃくを作ったりできるツアーは田舎でしかできない、とても楽しいツアーだと思います。																	
私は、沼田をもっと同じ年の人たちにも知つてもらいたいと考えています。そのため、沼田と生活環境がちがう地域の中小学生たちとお互いの家にホームステイをしながら、交流を深められるような体験ができたらいいと思します。																	
例えば、沼田城址や歴史資料館などの真田氏ゆかりの史跡や文化財をめぐったり、果物や野菜などを育てたり、収穫したりする農業体験など、様々な活動をすることが考えられます。																	
そういうった中小学生交流事業について、市の考え方をお聞かせください。																	

## 質問事項 「沼田市の子どもの運動不足解消について」

No.14

かたの ひかる

薄根小学校 6年 片野 光琉 (14番)

かなり以前から、子ども達の運動不足が問題視されています。それは、沼田市でも例外ではありません。
今の子ども達は、家に帰り、宿題をしていたら、もう暗くなり始めていて外で遊んだり、運動したりできないことがよくあります。また、ゲームをしていたり動画などを見ていたりしてたら外が暗くなつていて、結局体を動かさないということもあります。他に、子ども達が運動できる公園などの場所が少ない気がします。
このままでは、将来、沼田市の多くの子ども達が運動不足になり病気にかかるてしまうのではないかと心配しています。今、沼田市には、昼間でも、学校から帰つてからも、子ども達が安心して遊んだり、運動したりできる場所はありますか。また、運動不足の解消についての話し合いがもたれたことはあるのでしょうか。
もし、こういう施設が増え、多くの子ども達が活用するようになれば、運動不足の問題の解消につながり、病気にかかる子ども達も少なくなると思います。

## 質問事項 「笑顔が増える商業システムの提案」

No.15

よしの はるみ

利南東小学校 6年 吉野 春海 (15番)

私は今年新型コロナウィルスの影響で、数々のお店が困っているのをテレビで目の当たりにしました。それは、沼田市も同じです。色々なお店、特に飲食店にお客さんが来なくなつたと聞きました。そのため飲食店ではテイクアウトなどが始まり、町のあちらこちらでテイクアウトの、のぼりを見かけるようになります。実際に私の家も利用しました。少しでもお店の役に立てるよう普段は行かないお店も利用しました。沼田市のみんなが同じように利用すれば商業の振興に役立つのではないかと思いました。けれども、お年寄りなど出かけるのが難しい人もたくさんいると思います。

そこで、だれもが簡単に色々なお店のテイクアウトを利用できるようなシステムがあるといいと思いました。このシステムは、お店側も利用者側もプラスになるし、商業の振興にもつながると思います。沼田市で、このようなシステムを整えることは可能でしょうか？もし、そのシステムができたら、たくさんの人間に宣伝したいです。

## 質問事項 「図書館に関するここと」

No.16

いなだ かいと

沼田小学校 6年 稲田 樺斗(16番)

ぼくは、沼田市の図書館をさらに魅力的にするための改善案を考えました。

まず一つ目の案は、図書館に植物を多く置くことです。できれば、5階の尾瀬森林文化資料館の一部を植物園のようににして、カフェ等のコーナーを作つてほしいです。そうすることで5階を利用しに来た人が、帰りに本を読んだり、借りたりするなど、利用者が増えると思います。

二つ目は、入り口についてです。今の入り口は、道路から幅がとても狭く、距離も短く、車が停めにくくなっています。図書館の隣にある沼田郵便局の駐車場を二階建ての駐車場にして、図書館側から入れるようにすれば、もっと利用しやすくなると思います。沼田市には、子ども連れの人が、雨の日に利用できる施設があまりありません。図書館を多目的に利用できるようにすることで、さらに、市民に愛される施設になるのではないかと思いました。

## 質問事項 「障害をもつ人への理解」

No.17

かねこ りな

利根小学校 5年 金子 莉奈 (17番)

私達の日常では、障害のある方との交流があまりありません。今まで高齢の方との交流はありましたが、障害のある方との交流は授業などであまり経験したことがありません。																							
わたしの知り合いに、車いすで生活している女性がいます。その方が、子供をひざの上に乗せて車いすで歩いていた時、すれちがつた人から「まあ、かわいそうに。」と言われたそうです。この言葉をいった人は、障害についての理解、知識がないから、障害のある方や障害のある方の子供は不幸せで、かわいそうと考えているのではないかと思います。																							
これから先、このような悲しい思いをする人をなくすためには、障害のある方がふだんどのような生活をしているのかを聞いたり、調べたりするとよいと思します。																							
そこでわたしは、障害のある方とふれあい、障害について学ぶ機会を設けたらよいと思います。沼田市では、子供や大人など、多くの人にそういう機会があるのでしょうか。教えてください。																							

## 質問事項 「本町通りの活性化について」

No.18

こばやし せな

沼田西中学校 3年 小林 瀬南 (18番)

沼田市の本町通りは、沼田祭りや柳波祭り、 だるま市など、数多くの行事で使われている 大切な通りです。しかし、僕が小学校の頃か ら年々、シャツターが閉まっているお店が増 加しているように思います。																			
そこで、本町通りを活性化させるための方 策について、お聞きしたいと思います。																			
僕は、本町通りに、僕達のような学生やお 年寄りが気軽に入れるような「飲食店」や、 子どもとお年寄りが一緒に遊べたり、趣味を 楽しめたりするような「交流施設」を設置す ることを提案したいです。これらを設置する ことで、今まで以上に、友達や家族とゆっく り過ごせる時間が増えたら良いなと思します。 もしも、これが実現したら、数多くの町の人 が、本町通りに集まって、沼田市の発展にも 繋がるのではないかと思いました。																			
その他、考えている方策があれば教えてく ださい。																			

## 質問事項

「誰もが安心して生活できる魅力ある町づくりについて」

No.19

おのまなと

白沢中学校 3年 小野 愛翔 (19番)

僕は、沼田市の高齢化に伴う社会問題への対応について、質問があります。今、高齢者ドライバーによる事故が全国で社会問題になっています。そして、高齢者は運転免許を返納した方が良いという風潮が世間では高まっているように感じます。本校では、学区内の、一人暮らしの高齢者に毎年菊を配っています。その経験から、市内にも一人で暮らしている高齢者の方が少なくないと感じています。つまり、沼田市にとっても、高齢者ドライバーによる事故は、今日的な問題であると言えます。しかし、これは高齢者の方だけの問題ではありません。沼田市の現在の生活環境を考えると、運転免許を返納するのは容易ではありません。その理由は、日常生活用品の購入や、通院には自動車が必要不可欠だからです。沼田市全域を考えると、残念ながら、公共交通機関が高齢者にとって利用しやすく整っているとは言えず、そのため、高齢者であっても運転せざるを得ません。

そこで僕は、高齢者だけでなく妊婦さんや障害のある方、子供たちが利用しやすい公共交通機関の整備や、移動式のスーパーを運営

## 質問事項

「誰もが安心して生活できる魅力ある町づくりについて」

No.19

おのまなと

白沢中学校 3年 小野 愛翔 (19番)

するなど、高齢者が運転をしなくても暮らせるような環境を作ることを提案したいと思います。そうすることで、安心して運転免許を返納できるようになると思します。さらに、高齢者ドライバーによる痛ましい事故が減らせるだけでなく、沼田市が、誰もが安心して生活できる魅力ある都市になると思います。

沼田市では、この問題について、今後どのような対応を考えておりますか。具体的な内容があれば教えてください。

## 質問事項 「ソーラーパネルの設置と環境問題」

No.20

むらまつ いずみ

薄根中学校 3年 村松 和泉 (20番)

私はソーラーパネルの設置に関して、意見があります。最近、私の通学路には、広大なソーラーパネル群が三箇所新設されました。これは地球温暖化防止として、一般的にも良いことだと思います。しかし、私が問題視するのには「ソーラーパネルを設置するために木を切っている」という点です。ソーラーパネルの新設にあたり、おそらく日照条件の問題で、私の家の周辺に生えていた杉林や桜の木、学校を下ったところに生えていた木々もほとんど伐採されてしまいました。別の通学路でも大幅に木が減った様子を見ます。私は、地球温暖化防止となるソーラーパネル新設のために、地球温暖化を促進する森林伐採を行っている現状に矛盾を感じました。澄んだ空気と自然豊かな環境を、地域の宝とする沼田市から木々が減ることは、私たち市民の視点からも、地球規模で見ても、大きな損失であると考えます。この問題に対して、対策をとつて頂くことを希望するとともに、沼田市に対しての考えをお聞かせください。

## 質問事項 「沼田市の観光客を増やすために」

No.21

なかむら ひまり

利根中学校 3年 中村 向日璃 (21番)

私の住んでいる沼田市には、温泉や吹割の滝、紅葉などの観光名所が多くあります。しかし、それらは季節などで観光客の数が変化します。また、観光客が高速道路や電車を沼田で降りて、観光地に向かう場合、道中で寄る場所が少なく、観光客の増加につながっていらないという課題があると思います。

そこで、沼田市を活気あふれる市にしていくため、新たに観光施設を作れば課題の解消につながるのではないかと考えました。

私は、沼田市白沢町にある道の駅を改造して、沼田市の特産物を押し出した施設として充実すれば、地域向上への切り口になると考えます。例えば、沼田市名物のとんかつや果物を食べ比べられる食事処や、沼田市の自然や文化を生かした体験型の施設などとすれば、道の駅のさらなる観光客増加につながると思います。

この道の駅改良により、沼田市が四季折々、観光客にあふれる市になるきっかけになるのではないかと考えます。

市の考えを、お聞かせください。

## 質問事項 「市営キャンプ場の建設について」

No.22

とば さきえ

多那中学校 3年 鳥羽 咲恵 (22番)

私はガールスカウトに入っているので、キャンプをする機会が多いのですが、沼田市には市営のキャンプ場がないことに気づきました。																							
今、キャンプ人口は増加傾向にあり、日本オートキャンプ協会によれば、2012年の720万人から、2019年には860万人と、7年連続で前年を上回っているそうです。																							
市営キャンプ場があれば、観光客の増加や都市間交流などでの、沼田市の雄大な自然のPRにもつながるのではないかと思います。また、市内の学校の行事や、自然環境についての学習にも、とても役立つと思います。さらに、コロナの騒動が、今後もし悪化したとしても、密にならずに、きれいな空気の中、のびのびと遊びに行ける場所として、地元の人達も気軽に利用してもらえると思います。																							
今後、学校や各種団体、また一般利用者に使ってもらえるような、市営のキャンプ場を建設する予定はありますか。																							

# 質問事項 「沼田市の未来を担う人達について」

No.23

よこさか りゅう き  
利根実業高校 3年 横坂 竜樹 (23番)

沼田市は、近年子どもや若者の減少が著しいです。近所を歩けば、年配の方を多く見かけますし、小学校の児童数や中学校、高校の生徒数を見れば一目瞭然です。そこで、沼田市のある子どもや若者の減少への対策についてお伺いしたいと思います。																			
子どもや若者が少ない理由は、沼田市に残る人や、戻ってくる人が少ないからではないかと思っています。また、他地域や他県などから移住してくる人もあまり見かけません。																			
私は、子どもや若者を増やすには、UターンやIターン者を増やすことが良いのではないかと考えています。沼田市として、沼田市に残つてもらうために、Uターン者やIターン者を増やすために行っている事、また他にこれらではなくて行っている事がありましたら、教えていただけすると幸いです。																			

## 質問事項 「みんなの過ごしやすい沼田市」

No.24

まつい ひろむ

沼田中学校 3年 松井 翔夢 (24番)

僕は、今までに心身に障害をかかえた人を見たことがあります。それは僕が小学生の頃でした。学校の下校中、友達と歩いていると、前から目の不自由な人が歩いてきました。僕は道の端によけましたが、友達は気にせず歩いていました。その障害者の方は、道が塞がれ、前に進めず、困っていました。このような場合、僕は周囲の人達の配慮が必要だと思います。例えば、横に広がっていたら、幅をとらないように歩いたり、できるだけ急いで通つたりすることです。僕は、周囲の人達が配慮できる、そんな世の中、沼田市になつて欲しいと思っています。だから、社会福祉課のみなさんに、障害を持つ人達に直接意見を聞き、その人達の意見や考えの分かるポスター等の作成をして頂きたいと思っています。また、今現在で、障害を持つ人達が過ごしやすい社会にするために、取り組んでいくことがあつたら教えてください。																							

質問事項 「高校生の通学での交通費について」

No.25

みやざわ ひな

尾瀬高校 1年 宮澤 陽奈 (25番)

私の通う尾瀬高校は、沼田市から通うほぼ
全ての生徒がバスを利用して通学しています。
なので、3年間高校に通学するだけで、10
0万円以上のお金がかってしまう人がいま
す。また、沼田市以外に進学する場合も、同
様に電車代がかかります。
そのため、高校進学を考えるときに、交通
費が高くて、学びたいことがあるのに、行き
たい学校をあきらめ、市内の交通費のかから
ない学校を選ぶ人が少なからずいると高校受
験を通して感じました。
なので私は、高校生の通学における交通費
の補助を提案いたします。もちろん、全ての
高校生の全額を補助してほしいわけではありません。
しかし、電車代、バス代が高いことを理由に、自分の学びたい学科のある進学先
をあきらめてしまう人がいなくなるような補助をお願いしたいです。
以上について、沼田市からのご意見をお願いいたします。